

単位表　目次

日本専門医機構認定（機構専門医）　単位表 P.2

日本麻酔科学会認定（認定医・指導医）　単位表 P.5

＜機構・学会共通＞
【別紙1】対象となる麻酔科関連学会、麻酔関連国際学会 P.7

＜機構・学会共通＞
【別紙2】必要な実績証明書 P.8

日本専門医機構認定(機構専門医) 単位表

資格申請ごとに必要な単位数が異なります。必要単位数については、弊会HPの「各種認定情報・資格申請」にございます「必要な症例数・単位数」をご確認ください。

【会員専用ページに自動反映される実績】

・自動反映された実績は、証明書類の提出が必要なく単位が認められます。注釈が無いもの含め、原則企業共催は加算対象外となり、自動反映されておりません。

カテゴリー	項番	学術集会・研究会・講演会名	日本専門医機構認定制度				備 考
			受講・参加単位	発表単位	座長単位		
(ii) 専門医共通講習	1	日本麻酔科学会主催 専門医共通講習 (※e-Learning受講可)	1 (1時間1単位)	2	1	<1時間1単位について> 2時間の場合は2単位 2時間以上の講習は2単位が上限	
	2	麻酔科関連学会主催 専門医共通講習 (※日本麻酔科学会が窓口となり開催された講習のみ自動反映)	1 (1時間1単位)	2	1	<1時間1単位について> 2時間の場合は2単位 2時間以上の講習は2単位が上限	
(iii) 麻酔科領域講習	3	日本麻酔科学会リフレッシャーコース 本学会主催の麻酔科領域講習(1講義) (※e-Learning受講可)	1 (1時間1単位)	2	1 (1時間1単位)		
	4	麻酔科関連学会主催の麻酔科領域講習(1講義) (※日本麻酔科学会が窓口となり開催された講習のみ加算対象)	1 (1時間1単位)	2	1 (1時間1単位)	麻酔科関連学会主催の麻酔科領域講習は全て事前に日本麻酔科学会にて審査を行っており、単位も自動反映されています。 自動反映されていない講習は単位に含めていただけません。	
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	5	日本麻酔科学会年次学術集会	3	1.5	1	<発表単位について> 筆頭演者と第2共同演者のみ単位表記載の単位数が算定できます。 第2共同演者:抄録の筆頭演者の隣に記載されている演者 第3共同演者以降の単位は算定できません。	
	6	日本麻酔科学会支部学術集会(地方会)	2	1	1	<コメントについて> ●2024年度の実績まで PBLDコメントーターは、発表単位で算定できます。 PBLD以外のコメントーターは2024年度の実績分までは対象外です。 ●2025年度以降 PBLD以外のコメントーターも発表実績として算定可能です。	
	7	日本麻酔科学会周術期管理チーム セミナー(1講義)		1	1		
カテゴリー	項番	その他の活動内容	活動実績単位			備 考	
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	8	専門医試験作成委員	3				
	9	専門医試験口頭実技試験官 (試験当日担当者)	1				
	10	専門医試験筆記試験監督	1				
	11	周術期管理チーム認定試験作成委員	1				
	12	周術期管理チーム認定試験監督	1				

【証明書類の提出が必要な実績】

- 自動反映されないものは、手入力で会員専用ページにて実績登録を行い、資格申請時に証明書類の提出が必要です。
- 単位の認定可否は提出された証明書類の内容をもとに審査いたします。注釈が無いもの含め、原則企業共催は加算対象外です。
内容によっては認められないものもございます。
申請者の個別の実績について認められるかどうかの問い合わせは、事前審査となるため行っておりませんのであらかじめご了承ください。

カテゴリー	項目番号	学術集会・研究会・講演会名	日本専門医機構認定制度				必要な証明書類 (リンク先参照)
			受講・参加単位	発表単位	座長単位	備考	
(ii) 専門医共通講習	13	専門医共通講習 (※他学会で開催された講習、院内講習等、自動反映されていないもの)	1 (1時間1単位)	2	1	日本専門医機構に承認された講習のみ加算対象です。 <1時間1単位について> 2時間の場合は2単位 2時間以上の講習は2単位が上限	「別紙2」の「A」参照
(iii) 麻酔科領域講習	14	AHA-ACLS、AHA-PALSプロバイダーコース (国外のコースも可) ※日本麻酔科学会主催のプロバイダーコースは、 下記リンク先の「開催案内」参照 【AHA・BLS・ACLSコース開催案内】	4	4 (インストラクター)		【機構専門医更新・機構専門医再認定の場合】 項目番号15と合計で上限12単位まで、算定可能	
	15	シミュレーション講習 (「別紙1」に掲載された学会の講習のみ対象)	0.5日:1単位 1日:2単位 2日:4単位	0.5日:1単位 1日:2単位 2日:4単位 (インストラクター)		<シミュレーション講習要件> ・日本麻酔科学会年次学術集会、支部学術集会、別紙1にある麻酔科関連学会、麻酔関連国際学会の年次大会での開催である ・企業共催ではなく、受講者からの受講料で運営がされている ・講習内容が固定されている ・座学のみは不可 ・0.5日分の講習は3時間以上かつ内2時間以上の体験型実習を含むものとする。1日分はその倍の時間とする 【機構専門医更新・機構専門医再認定の場合】 項目番号14と合計で上限12単位まで、算定可能	「別紙2」の「B」参照
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	16	麻酔科関連学会、麻酔関連国際学会 (年次・総会) (対象となる学会は「別紙1」を参照)		1	1	<発表単位について> 筆頭演者と第2共同演者のみ単位表記載の単位数が算定できます。 第2共同演者:抄録の筆頭演者の隣に記載されている演者 第3共同演者以降の単位は算定できません。	
	17	麻酔科関連学会 支部・地方会 (対象となる学会は「別紙1」を参照)		0.5	0.5	<コメントについて> ●2024年度の実績まで PBLDコメントーターは、発表単位で算定できます。 PBLD以外のコメントーターは2024年度の実績分までは対象外です。 ●2025年度以降 PBLD以外のコメントーターも発表実績として算定可能です。	「別紙2」の「D」参照
	18	日本医学会総会		1.5	1		
	19	地域や学校での教育指導・学術講演 (項目番号14、15を除く心肺蘇生講習会、救命士への気管挿管実習も含む)		2	1	企業共催でないこと 1時間以上の講演・講習等が条件 (※)同じ年度に複数異なる教育・講演実績があった場合でも、項目番号20と合計で年間2単位までが上限	「別紙2」の「E」参照
	20	日本救急医学会 ICLSコース	1	2		項目番号19と合計で年間2単位までが上限 ※麻酔科領域講習単位に加算することはできません。	「別紙2」の「F」参照
カテゴリー	項目番号	他の活動内容	活動実績単位			備考	必要な証明書類 (リンク先参照)
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	21	学校の校医業務	2			合計1年以上務めた場合に算定可能です。 ※最大2単位まで	「別紙2」の「G」参照
	22	日本医療安全調査機構の医療事故調査制度 における外部委員	2			センター調査、院内調査どちらも対象です。 ※1年度につき2単位が上限	「別紙2」の「H」参照

【証明書類の提出が必要な実績(論文・著書)】

- ・共同著者全員が単位表の共同著者単位を算定可能です。
- ・論文は掲載誌が発行された年度、査読は査読年度が単位取得年度となります。

カテゴリー	項番	論文・著書	日本専門医機構認定制度				必要な証明書類 (リンク先参照)
			筆頭著者単位	共同著者単位	査読	備考	
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	23	Journal of Anesthesia(本学会機関誌)	2	共同著者全員を 「1単位」とする。 1 (リジェクト含む 1査読1単位)			<論文発表> 「別紙2」の「I」参照 <査読> 「別紙2」の「J」参照
	24	JA Clinical Reports	2				
	25	麻酔(本学会準機関誌)	2				
	26	麻酔科関連学会が発行する学術誌、商業雑誌 (邦文または英文) (対象となる学会は「別紙1」を参照)	2				
	27	麻酔科関連学会以外の学術誌、 商業誌、その他麻酔に関する書籍、 麻酔関連学術専門書、麻酔関連教科書、 麻酔に関する一般書	2				
	28	日本麻酔科学会医薬品ガイドライン	1				

※その他 Pubmedに掲載されている雑誌を含む。

※原著・総説・講座・症例報告等を対象(短報を含む)とし、印象記などは対象となりません。

日本麻醉科学会認定(認定医・指導医) 単位表

※資格申請ごとに必要な単位数が異なります。必要単位数については、弊会HPの「各種認定情報・資格申請」にございます「必要な症例数・単位数」をご確認ください。

【会員専用ページに自動反映される実績】

・自動反映された実績は、証明書類の提出が必要なく単位が認められます。注釈が無いもの含め、原則企業共催は加算対象外です。

カテゴリー	項目番号	学術集会・研究会・講演会名	日本麻醉科学会認定制度				備考
			受講・参加単位	発表・座長単位	査読単位		
(iii) 麻酔科領域講習	29	日本麻醉科学会リフレッシャーコース 本学会主催の麻酔科領域講習(1講義) (※e-Learning受講可)	1 (1時間1単位)	2			
	30	麻酔科関連学会主催の麻酔科領域講習(1講義) (※日本麻醉科学会が窓口となり開催された講習のみ加算対象)	1 (1時間1単位)	2			麻酔科関連学会主催の麻酔科領域講習は全て事前に日本麻醉科学会にて審査を行っており、単位も自動反映されています。 自動反映されていない講習は単位に含めていただけません。
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	31	日本麻醉科学会年次学術集会	3	1.5	0.3 (1回の査読につき)	<発表単位について> 筆頭演者と第2共同演者のみ単位表記載の単位数が算定できます。 第2共同演者:抄録の筆頭演者の隣に記載されている演者 第3共同演者以降の単位は算定できません。	
	32	日本麻醉科学会支部学術集会(地方会)	2	1		<コメントについて> ●2024年度の実績まで PBLDコメントーターは、発表単位で算定できます。 PBLD以外のコメントーターは2024年度の実績分までは対象外です。 ●2025年度以降 PBLD以外のコメントーターも発表実績として算定可能です。	
	33	日本麻醉科学会周術期管理チーム セミナー(1講義)		1 (当日発表者のみ)			

【証明書類の提出が必要な実績】

・自動反映されないものは、手入力で会員専用ページにて実績登録を行い、資格申請時に証明書類の提出が必要です。

・単位の認定可否は提出された証明書類の内容をもとに審査いたします。注釈が無いもの含め、原則企業共催は加算対象外です。

内容によっては認められないものもございます。申請者の個別の実績について認められるかどうかの問い合わせは、事前審査となるため行っておりませんのであらかじめご了承ください。

カテゴリー	項目番号	学術集会・研究会・講演会名	日本麻醉科学会認定制度				必要な証明書類 (リンク先参照)
			受講・参加単位	発表・座長単位	査読単位	備考	
(iii) 麻酔科領域講習	34	AHA-ACLS、AHA-PALSプロバイダーコース (国外のコースも可) ※日本麻醉科学会主催のプロバイダーコースは、下記リンク先の「開催案内」参照 【AHA・BLS・ACLSコース開催案内】	4	4 (インストラクター)			「別紙2」の「B」参照
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	35	麻酔科関連学会、麻酔関連国際学会(年次・総会) (対象となる学会は「別紙1」を参照)	1	1	<発表単位について> 筆頭演者と第2共同演者のみ単位表記載の単位数が算定できます。 第2共同演者:抄録の筆頭演者の隣に記載されている演者 第3共同演者以降の単位は算定できません。	<参加> 「別紙2」の「C」参照 <発表> 「別紙2」の「D」参照	
	36	麻酔科関連学会 支部・地方会 (対象となる学会は「別紙1」を参照)	0.5	0.5			
	37	日本医学会総会	1.5	1.5			

【証明書類の提出が必要な実績(論文・著書)】

- ・共同著者全員が単位表の共同著者単位を算定可能です。
- ・論文は掲載誌が発行された年度、査読は査読年度が単位取得年度となります。

カテゴリー	項目	論文・著書	日本麻酔科学会認定制度				必要な証明書類 (リンク先参照)
			筆頭著者単位	共同著者単位	査読	備考	
(iv) 学術業績・ 診療以外の活動実績	38	Journal of Anesthesia(本学会機関誌)	2	共同著者全員を 「1単位」とする。 1 (リジェクト含む 1査読1単位)			<論文発表> 「別紙2」の「I」参照 <査読> 「別紙2」の「J」参照
	39	JA Clinical Reports	2				
	40	麻酔(本学会準機関誌)	2				
	41	麻酔科関連学会が発行する学術誌、商業雑誌 (邦文または英文) (対象となる学会は「別紙1」を参照)	2				
	42	麻酔科関連学会以外の学術誌、商業誌、その他 麻酔に関する書籍、麻酔関連学術専門書、麻酔 関連教科書、麻酔に関する一般書	2				「別紙2」の「I」参照
	43	日本麻酔科学会医薬品ガイドライン	1				

※その他 Pubmedに掲載されている雑誌を含む。

※原著・総説・講座・症例報告等を対象(短報を含む)とし、印象記などは対象となりません。

【別紙1】
対象となる麻酔科関連学会、麻酔関連国際学会

麻酔科関連学会		麻酔関連国際学会
日本臨床麻酔学会 ※2019年度までの発表実績は1.5単位	日本小児麻酔学会	世界麻酔科学会 (WCA)
日本ペインクリニック学会	日本心臓血管麻酔学会	アジア・オーストラレーシア麻酔科学会 (AACI)
日本集中治療医学会	日本産科麻酔学会	米国麻酔科学会 (ASA)
日本緩和医療学会	日本区域麻酔学会	ヨーロッパ麻酔科学会 (ESA)
日本救急医学会	日本臨床モニター学会	中国麻酔学会 (CSA)
日本麻醉・集中治療テクノロジー学会	日本神経麻酔集中治療学会	韓国麻酔科学会 (KSA)
日本医療ガス学会	日本静脈麻酔学会	国際麻酔研究会議 (IARS)
日本蘇生学会	日本老年麻酔学会	
日本手術医学会	日本周産期麻酔科学会 (2026年度以降の実績のみ)	
日本Shock学会		
日本循環制御医学会		
日本呼吸療法医学会		
日本疼痛学会		

【別紙2-①】必要な実績証明書

必要に応じて、資格申請時に下記証明書類をいずれもコピーでご提出ください。

提出された証明書類をもとに認定審査委員会で審査を行います。

必要項目が記載されていない証明書の実績は、単位として加算されない場合がございますので、あらかじめご確認ください。

また、いずれの項目も、依頼状・委嘱状は証明書類として認められません。

A	<p>専門医共通講習 (院内講習等、自動反映されていないもの)</p> <p>※日本専門医機構に承認されている講習は 登録番号が付与されています。</p>	<p>【受講】</p> <ul style="list-style-type: none">●受講証明書 <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・受講者氏名・受講日(年月日)・受講時間または単位数 <p>※1カテゴリーにつき1時間で1単位の加算となります。(2時間以上は2単位)</p> <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none">●主催者発行の実施証明書 <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・講師氏名・講演日(年月日)・講演時間・演題名、講習会名・カテゴリー(医療安全・感染対策・医療倫理 等)・登録番号(Xを含む長番号)・主催者氏名・主催者証明印(公印)		
B	AHA-ACLS・AHA-PALSプロバイダーコース、 シミュレーション講習	<p>【参加】</p> <ul style="list-style-type: none">●プロバイダーカード、コース修了証、受講証明書のいずれか <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・受講者氏名・受講日時(年月日)・主催者名(受講証明書は主催者の証明印必須) <p>※受講日が有効単位期間内であれば、有効期限が切れていても問題ございません。</p> <p>【インストラクター】</p> <p>下記のどちらかを提出してください。</p> <table><tr><td data-bbox="1146 2652 1611 3060"><ul style="list-style-type: none">●主催者発行の実施証明書<p><必要項目></p><ul style="list-style-type: none">・講師氏名・受講日時(年月日、時間)・講演名・主催者名・主催者の証明印(公印)</td><td data-bbox="2087 2652 2503 3060"><ul style="list-style-type: none">●タイムスケジュール<p><必要項目></p><ul style="list-style-type: none">・講師氏名・受講日時(年月日、時間)・講演名・主催者名</td></tr></table> <p>※主催者が発行したものに限る。自作不可。</p>	<ul style="list-style-type: none">●主催者発行の実施証明書 <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・講師氏名・受講日時(年月日、時間)・講演名・主催者名・主催者の証明印(公印)	<ul style="list-style-type: none">●タイムスケジュール <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・講師氏名・受講日時(年月日、時間)・講演名・主催者名
<ul style="list-style-type: none">●主催者発行の実施証明書 <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・講師氏名・受講日時(年月日、時間)・講演名・主催者名・主催者の証明印(公印)	<ul style="list-style-type: none">●タイムスケジュール <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・講師氏名・受講日時(年月日、時間)・講演名・主催者名			
C	麻酔関連学会の集会参加 (指導医新規・指導医更新のみ)	<p>【参加】</p> <ul style="list-style-type: none">●参加証明書 <p><必要項目></p> <ul style="list-style-type: none">・参加者氏名・学術集会名称、回、会期・参加日時(年月日)・主催学会の証明印 <p>※自動反映されているものは提出不要です。</p>		
D	学術集会での発表	<p>●抄録</p> <ul style="list-style-type: none">・タイトルのみ、目次のみは不可。また、Power PointやWord等での自作不可 <p>・学術集会名称、回、会期、抄録全文が確認できるもの</p> <p>(抄録に学術集会名称、回、会期の記載が無い場合は、抄録表紙やHPのコピー等を併せてご提出ください)</p>		

【別紙2-②】必要な実績証明書

必要に応じて、資格申請時に下記証明書類をいずれもコピーでご提出ください。

提出された証明書類をもとに認定審査委員会で審査を行います。

必要項目が記載されていない証明書の実績は、単位として加算されない場合がございますので、あらかじめご確認ください。

また、いずれの項目も、依頼状・委嘱状は証明書類として認められません。

E	講演会、地域や学校などの学術講演・司会	<ul style="list-style-type: none"> ●講演実施施設が発行した証明書類 <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・講師・司会者氏名 ・講演日(年月日) ・講演時間 ・講演内容 ・講演場所 ・講演実施施設の証明印(公印) ・(気管挿管実習のみ)年間実施症例数
F	日本救急医学会 ICLSコース	<p>【参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コース修了証、受講証明書のいずれか <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・受講者氏名 ・受講日時(年月日) ・主催者名(受講証明書は主催者の証明印必須) <p>【インストラクター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主催者発行の実施証明書 <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・講師氏名 ・受講日時(年月日) ・講演名 ・主催者名 ・主催者の証明印(公印)
G	学校の校医業務	<ul style="list-style-type: none"> ●業務を行った施設が発行した証明書類 <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・校医氏名 ・業務を行った期間(年月日) ・業務を行った場所 ・実施施設の証明印(公印)
H	日本医療安全調査機構の 医療事故調査制度	<ul style="list-style-type: none"> ●日本医療安全調査機構が発行した証明書類 <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・氏名 ・業務を行った日時 ・【センター調査の場合】日本医療安全調査機構の証明印(公印) ・【院内調査の場合】調査を依頼した機関の証明印(公印)
I	学術雑誌等への論文発表	<ul style="list-style-type: none"> ●掲載論文の写し <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・著者氏名 ・論文内容(全文) ・掲載誌名称、発行日が分かるもの(※発行日が単位取得日となります)
J	機関誌の論文査読	<ul style="list-style-type: none"> ●査読時のThanks mail もしくは 機関誌サイトの画面コピー <必要項目><ul style="list-style-type: none"> ・査読者氏名 ・査読日時 ・査読した論文名(もしくは査読番号) ・機関誌の名称